

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所よつば			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8月1月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状態や活動によっては、個別対応しているところ。	子どもの成長や心身の状態、行動などを考え、その子の対応方法やできることに対して取り組んでいる。	子どもの発達や課題、目標によっては子ども同士のつながりもてるようにすること。獲得できたスキルを事業所以外でも取り組めるようになること。
2	活動は子どもの意見を反映しているところ。	子どもの意思尊重を考えた活動を行っている。子どもの意見を聴くことで、生活、社会性のスキルが学びやすくなる。	子どもの意見を反映することで、地域資源を活用した取り組み充実させていくこと（子どもたちの社会性を広げていくこと）。

3	子どもが活動する上で取り組みやすいように、手順書を活用していること。	おやつ作り、製作活動などでは手順書を活用している。交通機関のルールやマナーにおいては、本、インターネット情報を集め、子どもたちに説明している。	手順書を用いて、できることが増えることで、更に活動の幅を広げたり、取り組めることを増やしていく。
---	------------------------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	知的に遅れのない子どもも多く、子どもの成長によっては、活動のプログラムの立案が難しいこと。	活動の情報を集めていく（本やインターネットなど）。子どものできたことの評価を行い、保護者等にできることを伝えていくこと。	事業所以外でも取り組めるようにする工夫などをする（ご自宅でも取り組めるように、また、子どもの成長をみてもらえるように保護者へ伝えていくこと）。
2	子どもの評価を行うことで、活動の工夫や将来に向けて取り組めることを考えていけるようにすること。	事業所内（室内）だけでの取り組みをなっていること。将来に向けて（就労や中学、高校への進学）の取り組みを考えていくこと。	地域資源を活用し、時間、金銭管理のついて学ぶ機会を増やしていくこと。行った活動や経験したことをフィードバックし、評価から得られた情報や課題を知り、活動内容などを考えていくこと。
3			